

平成30年11月17日

日光市議会議長 斎藤伸幸様

日光市議会議員 筒井 巖

## 議員派遣報告書

目的 (会議等の名称)	全国市議会議長会研究フォーラム
会議等の 主催者の名称	全国市議会議長会
場 所	名称等：宇都宮市文化会館 住 所：栃木県宇都宮市明保野町 7-66
期 間	平成30年11月14日(水)～平成30年11月15日(木)
会議等の内容	別紙資料のとおり
会議等の 所感・成果等	<p>14日の1日目は、第1部として中央大学法学部宮本太郎教授の[「地域共生社会」をどうつくるか、2040年を超える自治体のかたち]という演題で基調講演が行われた。自治体が直面する2040年問題を克服するために、定年後の男性の地域デビュー支援など多くの人材を多面的に活用し生涯活躍できる環境をつくる必要があると主張。</p> <p>第2部では、山梨学園大学の江藤俊昭教授をコーディネーターとして4名のパネラーによるパネルディスカッションが行われた。その中では、各々の実践や調査研究を踏まえ</p>

	<p>て「議会と住民の関係について」議論された。</p> <p>15日の2日目は、第4部として前回に引き続き「議会と住民の関係について」江藤教授をコーディネーターに、現職の議長や議員としての立場から、課題について討議が行われた。4つの自治体の実例が報告されたが、いずれも市民の意見や疑問をどのように吸い上げるかが最大のポイントで、それぞれアプローチの仕方が違うが地域の実情に即した手法を取り入れていた。</p> <p>日光市議会においても、課題は共通するものであり、他市の例を参考にしつつ、当市に合った市民と議会の関係性を築くことが重要であるとの認識に至った。</p>
--	--